

ADULT ONLY

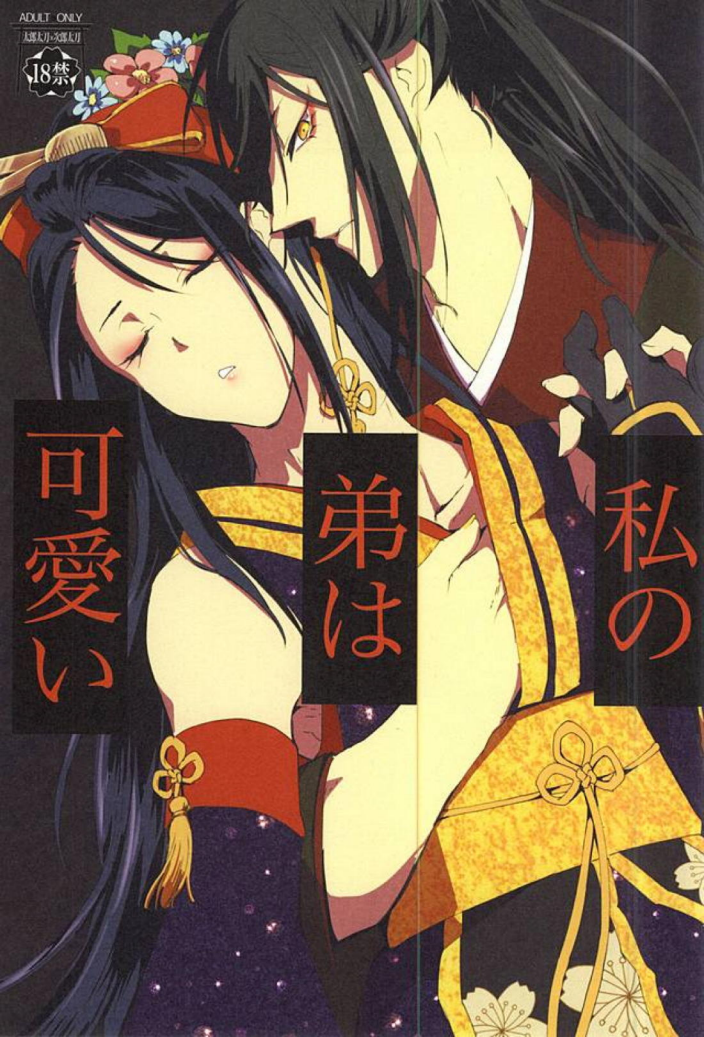
大塚大月・大塚大月

18禁

可愛い

弟は

私の





私の
弟は
可愛い



兄と呼んで
慕ってくれ

よく
話すことも
あったので

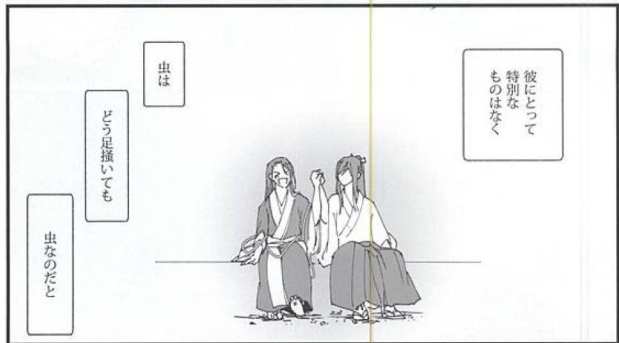


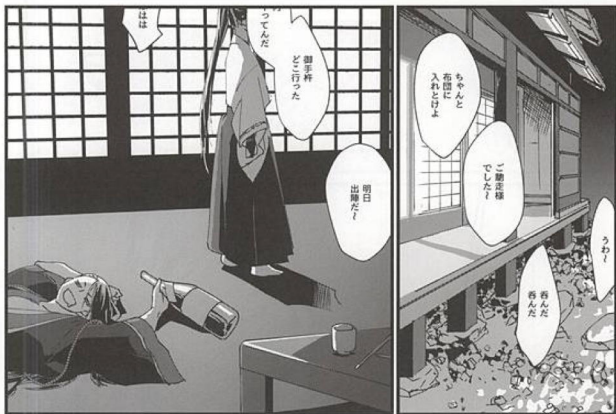
あまり共に戦うことは
なかったが













こんな事は
何の意味もない

すぐに
後悔し

罪悪感に
触まれた



何の意味もない

何の意味もない



何の
意味もない
答なのに



幾度となく
繰り返す

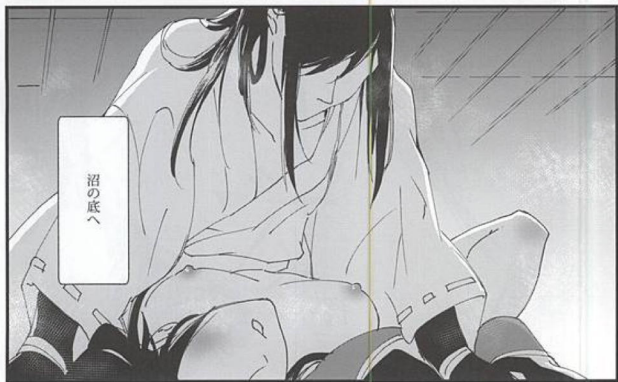


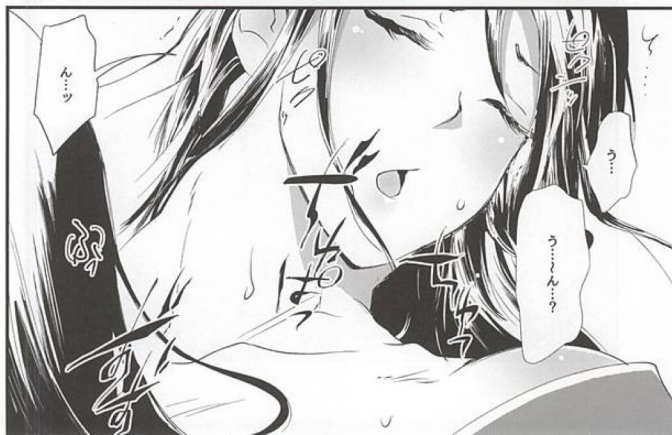
そして

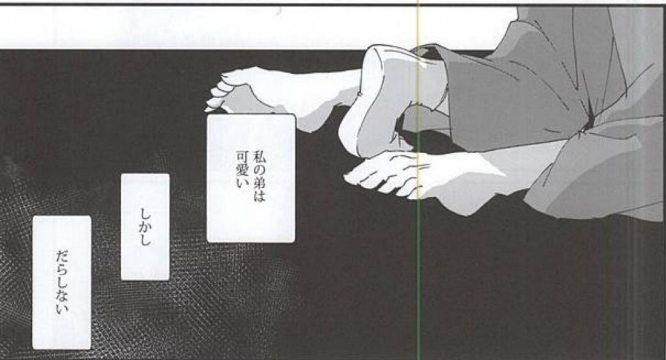
深い



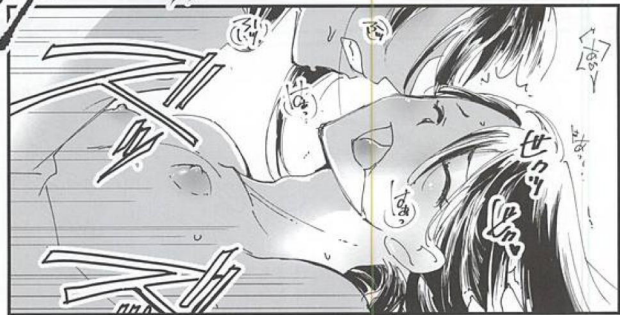
深い



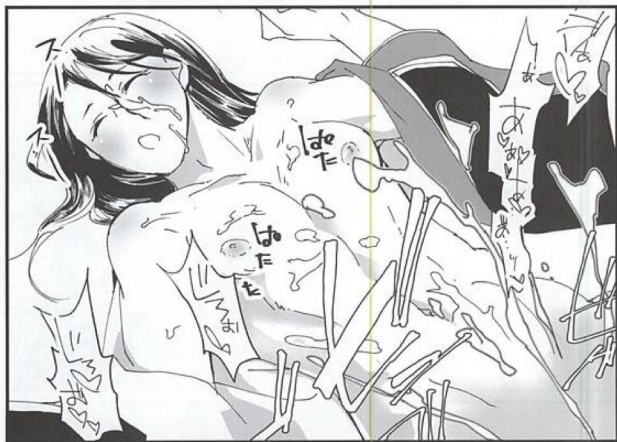
















時間は
前からなかった

二回目は
前回よりも
大胆に

触れたことの
ない部位へ

そんなことを
繰り返して
いると

段々と形跡を
隠滅しきれなく
なってきた

風

未だ
原因の特定には
至らず

次郎太刀は
身体的不調を疑い
近侍に
相談していたが

このままでは
まずい

二度と
繰り返すまい

今日で
最後にしよう

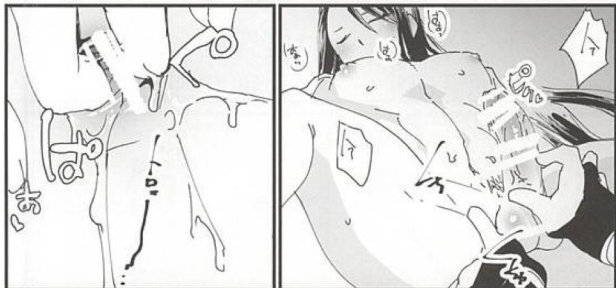
もう一度だけ

もう一度だけ

もう一度だけ

そして

一週間が
過ぎた

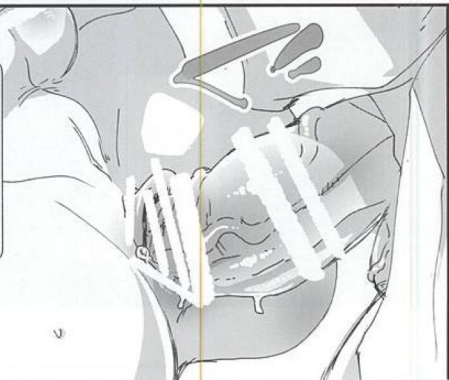


すっかり
私の指の形を
覚えてしまい
ましたね

添えただけで
美味そうに
吸いついて…



毎晩のように
玩具にされてきた
弟の身体は





胸を吸われ
悦び



雄を
容易く
受け入れ

蠕動で
子種を
ねだる

雌と
成り果てていた



寝ている間も
健気に

私を
悦くしやうと
肉事に
しやうらいへ

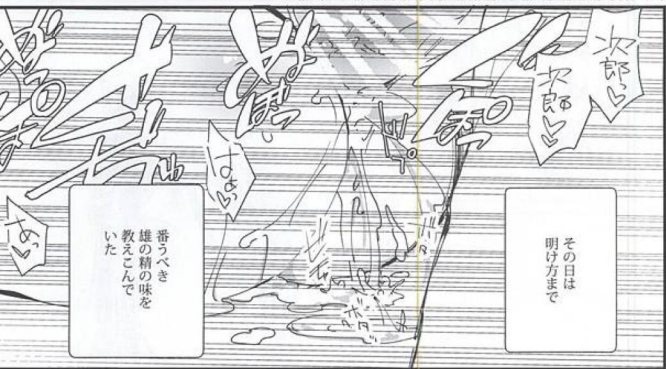


私の弟は

中が
動いて……

ああ……

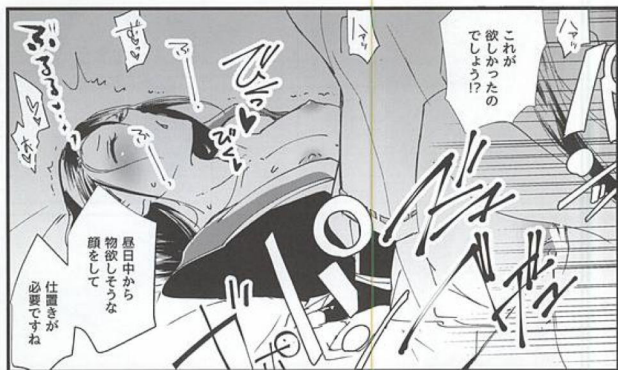
可愛い



その日は
明け方まで

番うべき
雄の精の味を
教えこんで
いた







花のように
美しくて
小さな子なんだ

アタシが
こんな格好
しても
全然気に
しないしさ

話していると
時間が過ぎるのが
あつという間



私の弟は

でも



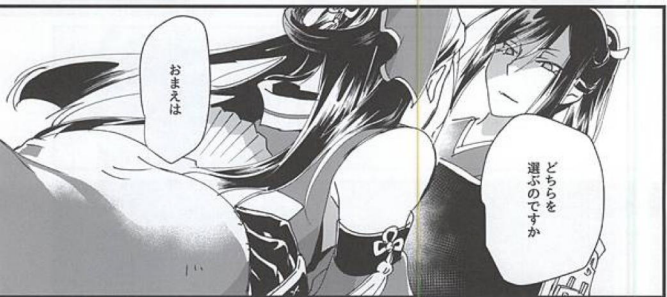
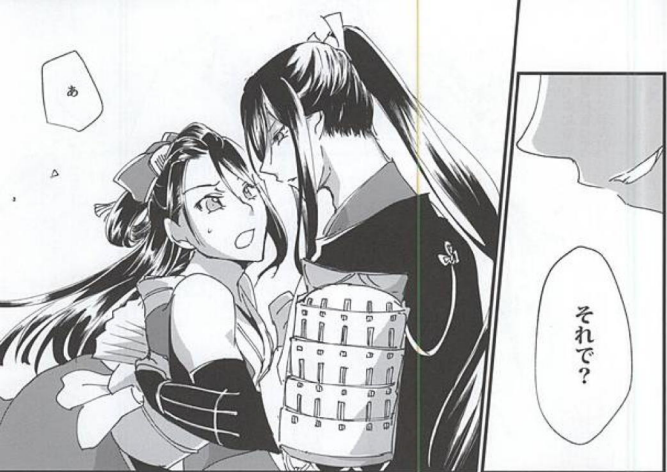
兄貴のそばに
いると

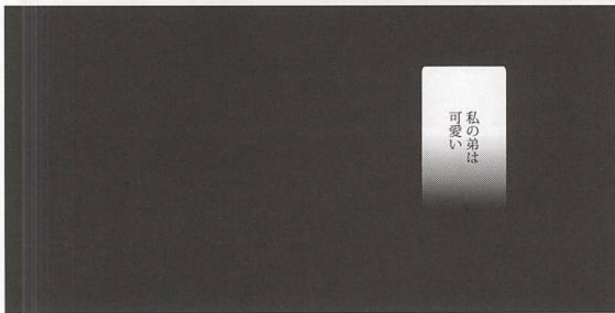
胸が
ドキドキして

可愛い

全身が
疼くんた
よお……♡

ドキ
ドキ
ドキ
ドキ
ドキ

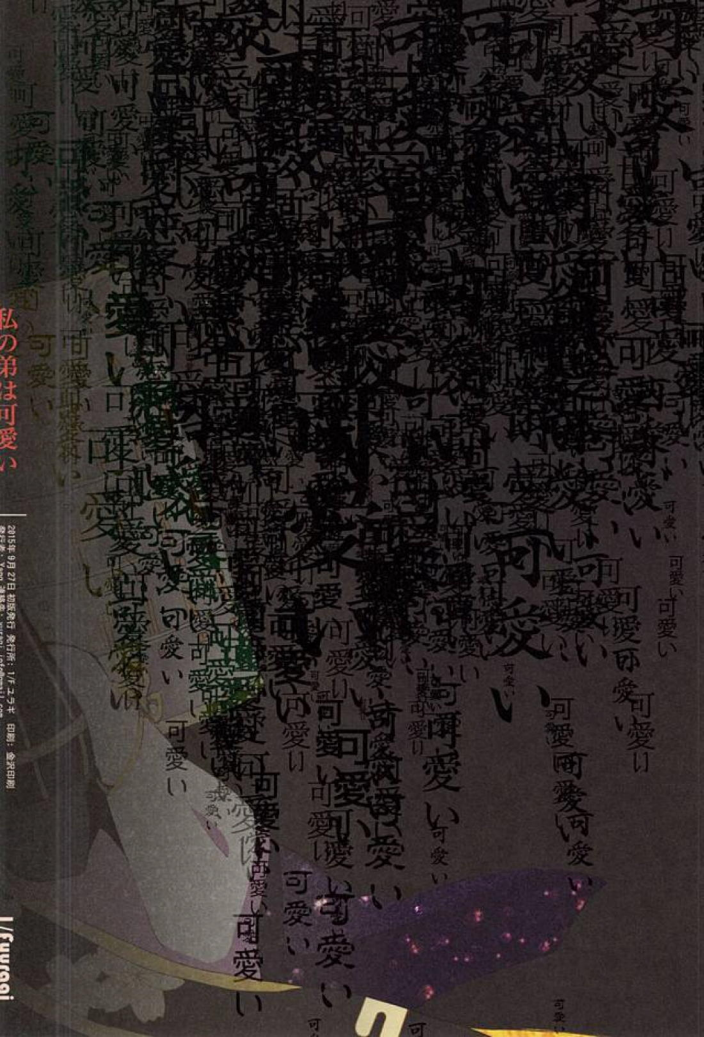




私の弟は可愛い

2015年9月27日 出版社発行 発行所：J/F 2.5 印刷：金沢印刷

1 / 1000000



可愛い
可愛い
可愛い

可愛い
可愛い

可愛い
可愛い

可愛い
可愛い

可愛い
可愛い
可愛い

可愛い
可愛い

可愛い

可

可